

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2018年4月22日第二礼拝

---

創世シリーズ

「安息日の起源と意義」

創世記

2章1節～6節

梅田昇牧師

# 聖書朗読 旧約聖書

## 創世記

### 2章1節～6節

聖書本文は新改訳2017

( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています

第二版の聖書は 2 ページ

第三版の聖書は 2 ページ

2017の聖書は 2 ページ

- 1 こうして天と地とその万象が完成した。
- 2 神は第七日に、なさっていたわざを完成し、第七日に、なさっていたすべてのわざをやめられた。
- 3 神は第七日を祝福し、この日を聖なるものとされた。その日に神が、なさっていたすべての創造のわざをやめられたからである。
- 4 これは、天と地が創造されたときの経緯である。神である主が、地と天を造られ

たときのこと。

- 5 地にはまだ、野の灌木もなく、野の草も生えていなかった。神である主が、地の上に雨を降らせていなかったからである。また、大地を耕す人もまだいなかった。
- 6 ただ、豊かな水が地から湧き上がり、大地の全面を潤していた。

# 説教

創世シリーズ

## 「安息日の起源と意義」

創世記

2章1節～6節

梅田昇牧師



< 初めに >

< 礼拝の意義 >



## ・安息日の起源

安息日の起源は創世記2章

A．ユダヤ教における安息日

B．キリスト教における安息日

C．私たちににとっての安息日

# ・安息日の意義

## 2節

なさっていたすべてのわざを休まれた

A．肉体の休息

B．精神的な休息

C．魂の休息





# ・安息日に対する姿勢

A．安息日を守る祝福

B．律法主義への警戒



## 終わりに（結論）

- 1 . 安息日は休息の日、祝福の日、礼拝の日。
- 2 . 信仰者は安息日に主を礼拝し、主から力を頂き、再び週間の旅路を歩む。
- 3 . 安息日を聖別し、聖日毎に、神様を礼拝するために教会に集い、神様に祝された生涯を辿り続けようではないか。